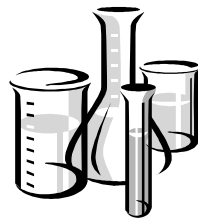


平成28年も終わり、新しい年がスタートしました。昨年は理数科だけでなく、普通科の生徒も探究活動や研修、発表会に励んでいました。また、昨年はたくさんの賞を受賞することができました。以下、その報告です。



福島潟研修

10月13日(木)に1年理数科の生徒は福島潟自然学習園で、新潟水俣病や、福島潟の歴史や生態系について学んできました。水俣病については、被害者本人から直接話を聞くことができ、公害について身近に感じることができました。また、生態系についても、実際に見たり触れたりすることができました。この研修を通して自然環境や身近な社会に対する興味関心が高まりました。



マレーシア研修報告会

11月30日(水)に2年理数科の生徒はマレーシア研修の報告を本校視聴覚室にて行いました。質疑応答も含む発表をすべて英語で行う姿は、1年理数科の生徒には大変な刺激となりました。また、1年理数科の生徒も積極的に質問を行い、活発な発表会になりました。



様々な賞を受賞

第60回日本学生科学賞新潟県優秀賞

私たちの研究がこのような賞をいただいたことは大変うれしく思います。時間に追われ、苦しい思いをする時期もありましたが、そうした多忙な日々も、振り返ってみると貴重な体験であったように感じられます。私たちの代では目標を完遂することはできませんでしたが、後輩が引き継ぐとのことで期待しています。最後に、多大なご助力をいただいた先生方、本当にありがとうございました。 理数科3年 蜷気楼班



理数トップセミナー(科学の甲子園予選) 物理分野 優秀賞

私たちは11月3日、4日、12月3日の3日間新潟大学で行われた理数トップセミナーに参加しました。私たちにとっては二度目の参加でした。今年の物理探究テーマは「超伝導」。存在は知っていたものの実際にみたり実験するのは初めてでした。そのように実験を進めればよいのか不安でしたが、未知の現象に対する好奇心もあり、また巻高校の2人に支えられ実験を進めることが出来て良かったです。来年はもっと多くの芝高生に参加してほしいです。 トップセミナー物理



理数トップセミナー(科学の甲子園予選) 筆記競技 2位

理数トップセミナー2日目、私たちは科学の甲子園の筆記競技に挑戦しました。「物理、化学、生物、数学の様々な分野から用意された難問を4人で8問解け。」私たちは1人につき2問解くことにし、それぞれ得意な分野の問題を選んで解き始めました。どの問題もとても難しいものでしたが、皆、頭をひねってなんとか答えを出していきました。今回2位という順位をとることができたのは、こういった努力も一因だったのではないかと思います。 トップセミナー筆記競技



県自然科学系クラブ活動報告・研究発表会 ポスター発表活動報告部門 優秀賞

私たちは今年度の課題としてモンティ・ホール問題の証明をしました。この問題は3つの扉の中に1つのあたりが入っています。一度扉を1つ選択し、その選んだ扉を選び直すか、直さないかというものです。私たちは扉の数とあたりの数をそれぞれ、 $3 \cdot 1$ 、 $6 \cdot 2$ 、 $5 \cdot 2$ に決めて実験やExcelを用いて実際の数をみて証明の結果を予測しました。私たちは今年度のこの活動を活動報告としてまとめました。この活動報告で賞を頂くことができました。来年度はより発展させていきたいと思っています。 自然科学部 数学班



県自然科学系クラブ活動報告・研究発表会 物理・地学部門 最優秀賞

先輩からの引きつぎ実験ということもあり、責任を感じつつ、日々実験や、シミュレーションに取り組んできました。実験やシミュレーションで失敗することや、部内で意見が対立することもありましたが、しかし、結果的には、全員で協力をして、賞をとることが出来てとてもうれしく思いました。次の全国大会に向けて、日々努力していきたいと思っています。 自然科学部 物理班

